

# 建物に関するもの

## 虚空藏堂建立由来



虚空藏堂

梓衝岡之内にある虚空藏堂は、当地方の庄屋安藤家の菩提所に建られたものである。

安藤家の先祖は、二階堂氏の家臣で、岡之内藏人より出た旧家である。とくに安藤弥兵衛都尚の代に至り、隆盛を極め川西の大尽と呼ばれた。川西とは阿武隈川の西をいうのである。

孫兵衛の妻は、才色兼備で、近隣に聞こえた賢夫人であった。ある年の正月、信心のため供をつれて、雪深い会津柳津の虚空藏堂に詣でた。その折、同社務所発行の富籤を求めたるところ、幸運にも一等に当り、賞として金子五拾両または虚

空藏尊の御姿(分身)のいずれかをいただけることになった。安藤夫人曰く「金子は使えば、すぐになくなるによって、御姿を頂き永く家の守本尊と致したく存じます」と申し出て、御姿を頂き持ち帰り、分家、弥右衛門栄信の協力を得て、延享三寅年二月、堂宇を築立して、現在に至ったといわれる。

(話者 円谷 実)